



# じゅん ぶう ごう けん 醇風剛健

北海道利尻高等学校 学校通信  
令和6年度 第3号  
令和6年8月21日発行

## Must → Can → Will

北海道利尻高等学校 校長 小林 洋介



4月の始業式・入学式から夏休み前までの登校日76日間、全校生徒59名は、日々の授業は素より、毎週のように計画されている行事や部活動、課外活動に自律と協働で取り組んできました。特に本校が昭和62年より推進しています「ふるさと教育」では、5月「礼文島宿泊研修（1年生）」、6月「全島一周マラソン」、「全校利尻山登山」をコロナ禍以前のように、無事実施することができました。保護者並びに関係する地域の皆様のご協力もあって大きな学習成果を得ることができたと感じております。

全国の高校生に「進路について悩んでいますか?」という質問に71.3%が悩んでいると回答し、そのうち33.5%が「自分のやりたいことがわからなくて悩んでいる」と回答しました（リクルート調べ）。つまり全体の約2割が将来の夢（やりたいこと、なりたいこと）がないという結果です。夢があった方が、その実現に向けた努力を傾けられることは想像に難くありません。でも、そもそも夢がないことはダメなことなのでしょうか。以前、ある3年生男子と話した時も「大学進学はしようと思うけど、その後は何をやるかは決まっていな。」と話していました。‘経営の神様’と言われるP・ドラッカーは、その著書の中で「第一に身につけるべき習慣は、なされるべきことを考えることである。何をしたいかではないことに留意してほしい。」と述べています。私たちは他者との関係性の中で生きています。やりたいこともその関係性の中で育っていきます。だからまず must（求められること）を優先し、しっかり取り組むことで can（できること）を増やしていく。そうすれば will（やりたいこと）が明らかになっていくと考えられます。今やりたいことが見つからないくても、焦らず、目の前の色々なこと（授業、部活、趣味、アルバイト、ボランティア等）に一生懸命取り組んで、経験を積み上げていくことが遠回りのようで実は近道だと思います。その価値の重なりが自分の行動規範である「自律」を磨いていくのだと信じています。

夏季休業明けからは、前期のまとめの時期となります。特に3年生にとっては9月中旬に就職試験が解禁され、進学希望者も推薦試験等が活発になってくる時期です。学校では、進路を獲得するための準備（must）を確実とするための指導・支援体制を機能させ、生徒個々の自信（can）に繋げ、やりたいこと（will）の広がり・高まりに期待していきます。保護者並びに地域の皆様におかれましては、本校教育活動への変わらぬご支援ご協力を、どうぞ宜しくお願いいたします。

## 悠遊覧人G

3年A組 小坂 晴太

全島一周を終えて

今年の悠遊覧人Gは天候に恵まれ、快晴の中での開催でした。

走り始めたときは永遠に走れる気がして調子に乗ってペースを上げました。

そして仙法志で両足を攣り、後悔しました。正直完走は無理かもしれないと思いました。その後も、何度も辛いなと感じる瞬間がありました。

それでも完走することができたのは、沢山の方々からの応援があったからです。CP や車の中から声をかけてくださった保護者の方や沿道で応援してくださった島民の方々、助け合いながら走ったランナーの方など、沢山の方々からの励ましの言葉や応援のおかげで走り切ることができました。ありがとうございました。

3年間の悠遊覧人Gを通して、住み慣れた利尻島の自然の豊かさや人の温かさを改めて知ることができ、これからも利尻島に関わり続けたいと感じるきっかけになりました。

利尻島を自分の足で一周するのは今回で最後だと思いますが、免許が取れたら車で何周もしようと思います。

でも、自分の足で一周することに意味があると思うので、来年以降も利高生に参加し続けてほしいです。

バド部はほぼ強制で一周にエントリーです。みんな楽しんで完走してね。

## 利尻山登山

3年B組 河越 丞太郎

今年の利尻山登山は最高だった。天気が良く景色が良かったからです。昨年度の登山では風が強かったり、湿度が高く岩が滑りやすかったり道が泥だらけで最悪でした。でも今年は日差しが強くて、楽しく良い気持ちで登頂することができました。ガイドが渡辺敏哉さんで、僕たちが知らない利尻のこと、利尻山の自然についてたくさん教わることができました。中でも駒鳥の卵が印象的でした。登山をしている観光客とも話し、沢山の人と交流することができました。そして3年連続登頂に成功しました。頂上からの景色は最高で、島全体を感じることができました。下山のときは印象的なことがなく、あまり覚えていません。でもマジで楽しかったです。一度は登ったほうが良いと思います。後悔します。この島に生まれたことをプラスに考え登頂しよう。

## 第65回利高祭

生徒会長 岡本 侑也

学校祭を終えて、私は二つの「感謝」の気持ちを感じることができたと思います。準備期間中、とても忙しく大変な毎日でした。各学年、各係での仕事や有志、ダンスなど一人ひとりが自分の仕事で精一杯な中での準備でした。そんな準備期間中、私は様々な人の優しさに助けられました。生徒会のメンバーだけでなく、三学年の皆や先生方、地域の方などの助けがなければきっと成功していなかったと思います。こういった中で、する「感謝」を改めて感じ、大切さを学びました。迎えた本番、様々なトラブルがありました。しかし皆で協力しあい、何とかやり切ることができました。そんな中、様々な方から、良かったよ！ お疲れ様！ 楽しい学校祭をありがとう！ など、される「感謝」をいただくことができました。この学校祭を通し、私はたくさんのものであることができました。感謝することで、協力することの大切さを、感謝されることでやり切る大切さを学びました。改めてこの学校祭、地域の方の助けや応援、生徒会メンバー含め、生徒や先生方の努力があったからこそこの学校祭だと思っています。これからもより良い学校祭を作り、地域の方と利尻高校がつながる橋となるよう、1、2年生には頑張っていてほしいと思っています。ご協力頂いた方々、多大なるご支援本当にありがとうございました。最後の学校祭をこのような楽しく幸せな気持ちで終われたことは、一生の思い出です。

2年A組 高橋 和奈

今回の学校祭は、前回よりも早く行われたためか、常に目まぐるしく動いていました。荷物が中々届かなかったり、部活との両立が厳しかったりと様々な人から「間に合わない」という声を聞いた準備期間でしたが、当日はそれぞれが完成した状態で学校祭を迎えることができ嬉しく思います。1日目の生徒会企画では、細かい動き方や話し方の癖から、瞬く間に解答が進み、驚きの声や悔しさの音が漏れていました。メインとなる仮装パフォーマンスでは、全学年が被ることのない個性でダンスを踊っていて、個性から学年の雰囲気を感じ取ることができました。全校生徒の一体感を感じ、良いパフォーマンスを披露できたと思います。2日目には一般公開を行い、来場された保護者の方や小さい子どもたちが楽しそうに見てくださっていて、間に合ってよかったと少し安心しました。生徒会企画の65番出口やクラス発表では、それぞれ拘りが見られ、時間外での努力が垣間見られました。一番の盛り上がりを見せた有志発表、3年生が主体となり、先生たちのステージなどで普段とは違う意外な一面を見ることができました。来年は人数の多い3年生が卒業し、有志発表も少なくなるかもしれませんが、利尻高校生らしく学校祭を楽しめたらいいと思います。教員の方々及び生徒会執行部の皆さん、一丸となった生徒の皆さん、お疲れ様でした。

### 8月・9月の主な行事

- 8月19日(月) 全校集会
- 23日(金) 芸術鑑賞
- 26日(月) 3年進路探究成果発表会
- 30日(金) 生徒会役員選挙
- 9月3日(火)～6日(金) 前期期末考査
- 10日(火)～21日(土) マクドナルド短期留学
- 18日(水) 一日防災教室
- 24日(火)～28日(土) 見学旅行(2年)
- 30日(月)～10月1日(火) 学期間休業



学校情報を随時更新しています！

☒ぜひ、ご覧ください☒

